

別府市消防の沿革

大正	13年	11月	19日	別府市消防組を設立
昭和	5年	4月	11日	梅園町で大火
	6年	10月	28日	観海寺で大火(19戸全焼・浴客1名焼死)
	9年	2月	9日	鶴見山山腹より出火
	10年	2月	8日	松原で大火(24戸全焼)
	12年	12月	18日	消防組に常備消防部を設置
	14年	4月	1日	消防組の名称を別府市警防団に改称
	17年	11月	9日	県立別府中学校が焼失
	22年	5月	1日	別府市警防団の名称を別府市消防団に改称(9個分団編成)
	23年	1月	1日	常備消防部北浜派出所を北浜に開設
		9月	2日	別府市消防本部(消防署)を松原に開設(常備消防部を廃止)
	24年	1月	4日	消防団に山の口分団を増設(10個分団編成)
		12月	1日	消防署亀川派出所を大字亀川字亀の甲に開設
	31年	2月	24日	市立青山小学校が焼失
		4月	1日	消防団に内成、天間、枝郷分団を増設(13個分団編成)
	33年	8月	30日	消防本部(消防署)庁舎を浜町に新築移転
		12月	12日	明礬で大火(7棟全焼)
	35年	1月	22日	消防無線局を開設(中短波無線局)
	36年	2月	9日	消防署山の手派出所を大字別府字野口原に開設
		12月	1日	消防署北浜派出所を廃止
	37年	1月	24日	消防署鉄輪派出所を大字鶴見に開設
		5月	12日	観海寺でホテル火災発生(ホテル白雲山荘)
		10月	1日	消防団本部を北浜二丁目に開設
	39年	4月	1日	消防署(本署)において救急業務を開始
	42年	3月	23日	はしご車(18メートル級)を導入(消防署本署)
	44年	11月	27日	南立石でホテル火災発生(鶴見園観光ホテル)
	45年	12月	25日	はしご車(30メートル級)を導入(消防署本署)
	47年	3月	31日	消防署実相寺派出所を大字鶴見に開設
		6月	20日	消防団本部を元町に新築移転
		9月	9日	消防署救助隊を発足
	49年	4月	1日	消防署扇山派出所を大字南立石に開設
	49年	10月	1日	消防署亀川派出所において救急業務を開始

昭和	50年	4月	1日	専任消防長が就任(消防本部に課制を導入)
		4月	14日	竹瓦商店街で大火(5棟全焼・19世帯32名被災)
		10月	3日	第1回市民と消防のつどいを開催(以後、毎年実施)
51年	3月	31日	大分県常備消防相互応援協定締結(大分県下全市町村)	
	3月	31日	非常備消防相互応援協定締結(大分市)	
54年	8月	1日	消防本部(消防署)庁舎を上野口町に新築移転 (消防緊急指令装置Ⅱ型導入)(消防署山の手派出所を廃止)	
	8月	1日	消防署の「派出所」の名称を「出張所」に改称	
58年	4月	1日	消防団に石垣、亀川、朝日分団を増設(17個分団編成)	
	6月	1日	消防団本部を北石垣に移転	
63年	12月	30日	北浜でホテル火災発生(ホテル望海荘)	
平成	元年	7月	20日	消防署扇山出張所において救急業務を開始
	2年	1月	11日	女性消防団員を採用(9名)
		2月	26日	はしご車(30メートル級)を更新
		6月	27日	船舶火災に関する業務協定締結(大分海上保安部)
4年	2月	29日	松原町で大火(12棟全焼・36世帯90名被災)	
	9月	3日	大分県地震対策総合防災訓練を実施(観光港埠頭)	
	9月	25日	はしご車(20メートル級)を更新	
	12月	24日	別府市防火基金条例を施行、「市民防火の日」を制定	
5年	3月	1日	「市民防火の日」に伴う、第1回市民防火講演会を開催	
	11月	19日	救急救命士誕生	
	12月	14日	化学車を導入(消防署本署)	
	12月	19日	消防署朝日出張所を大字鶴見に開設 (消防署鉄輪出張所・扇山出張所を廃止)	
6年	2月	26日	「市民防火の日」に伴う、第1回総合防災訓練を実施	
	4月	26日	応急手当普及啓発活動の推進を図る(指導員等の養成及び救命講習会等を実施)	
7年	1月	18日	阪神・淡路大震災の発生に伴い、兵庫県芦屋市に災害救援活動のため職員を派遣(3次まで派遣)	
	9月	3日	大分県地震対策総合防災訓練を実施(浜脇・朝見地区)	
8年	3月	28日	阪神・淡路大震災の教訓を基に、飲料水兼用型耐震性貯水槽 100トン2基を設置(海門寺公園・別府公園)	
	7月	1日	非常備消防相互応援協定を隣接5町と締結 (日出町・安心院町・湯布院町・庄内町・挾間町)	

平成	8年	8月29日	消火・通報訓練指導車を導入(愛称・けすゾウくん)
	8年	10月1日	消防署の勤務体制を2課制から3課制に移行
	9年	1月25日	日韓首脳会談に伴い、消防特別警備を実施
		3月1日	大分県防災航空隊へ職員を派遣(1名)
		3月21日	高規格救急車を導入(消防署本署)
		5月30日	大分県防災ヘリコプター応援協定締結(大分県下全消防本部)
		9月1日	別府市災害時消防支援ボランティア制度発足
		11月4日	別府市と別府市防災協会による大規模災害時における支援協力に関する協定締結
		11月10月	旅館組合における相互援助協定締結
		12月5日	別府市保養所協会災害時相互応援協定締結
10年		2月22日	別府市災害時消防支援ボランティア登録者に対する研修会を実施(以後、毎年2回実施)
		3月8日	総合防災訓練を実施(緑丘地区)
		4月13日	旅館組合連合会と保養所協定宿泊施設による別府市宿泊施設災害時相互援助協定締結
		5月1日	携帯電話・自動車電話からの119番通報受信転送等の業務を開始
11年		1月22日	別杵速見非常備消防相互応援協定締結 (杵築市・日出町・山香町)
		3月18日	3基目の飲料水兼用型耐震性貯水槽100トンを設置(松原公園)
		3月23日	大型救助工作車を導入(消防署本署)
		12月31日	コンピューター2000年問題(Y2K)対策のため消防特別対策本部を設置
13年		1月21日	別府市消防団モデル特別点検を実施
		2月22日	消防本部庁舎の耐震補強工事が完成
		2月28日	4基目の飲料水兼用型耐震性貯水槽100トンを設置(浜田児童公園)
		3月1日	大量情報伝達装置(テレドーム)の運用を開始
		4月1日	消防本部の組織を3課制から2課制に移行
		4月2日	2台目の高規格救急車を導入(消防署朝日出張所)
		9月8日	「市民救急フォーラム2001・BEPPEU」を開催
14年		2月11日	田の湯町で大火(5棟全焼・10世帯22名被災)
		2月13日	5基目の飲料水兼用型耐震性貯水槽100トンを設置(南石垣公園)
		3月10日	総合防災訓練を実施(緑丘・石垣西地区)
		4月1日	消防本部・消防署の機構を改革 (本部:救急救助係を新設。消防署:課制から中隊制に移行)

平成 14 年	7 月 21 日	別府市総合防災訓練を実施(楠港跡地)
	9 月 25 日	消防緊急通信指令施設の更新が決定
15 年	1 月 31 日	6基目の飲料水兼用型耐震性貯水槽100トンを設置(鶴見小学校)
	3 月 9 日	総合防災訓練を実施(鶴見・扇山・荘園地区)
	3 月 20 日	消防緊急通信指令システム完成
	4 月 16 日	消防緊急通信指令システム運用開始
16 年	3 月 25 日	3台目の高規格救急車を導入(消防署浜町出張所)
	9 月 22 日	別府市医師会・大分県防災航空隊との合同搬送訓練を実施 (中央浄化センター)
	11 月 13 日	別府市地震・津波対策防災訓練を実施 (境川小学校)
17 年	3 月 2 日	気管挿管を実施できる救急救命士誕生(大分県第1号)
	3 月 25 日	4台目の高規格救急車を導入(消防署亀川出張所)
	5 月 12 日	別府市消防本部のホームページ開設
	5 月 15 日	特殊災害訓練(境川小学校)
	7 月 20 日	各IP電話事業所への119番通報接続完了
	8 月 1 日	公共施設3箇所にAED(自動体外式除細動器)を設置
	8 月 28 日	大分県総合防災訓練
18 年	2 月 1 日	携帯119番通報直接受信方式運用開始
	4 月 1 日	初の女性消防吏員(救急救命士)2名採用
	9 月 12 日	薬剤(アドレナリン)投与が実施できる救急救命士誕生
	9 月 15 日	鳴川地区及び国道10号線の災害出動体制に関する申し合わせ (大分市消防局)
	10 月 17 日	災害情報通信の協力に関する協定(別府市タクシー協会)
	11 月 8 日	災害情報通信の協力に関する協定(別府市個人タクシー協同組合)
19 年	11 月 24 日	大平山地区防災バイク隊発足
	12 月 1 日	消防団本部を消防本部3階に移転
20 年	2 月 16 日	大分県国民保護図上訓練(大分県防災センター)
	3 月 21 日	7基目の飲料水兼用型耐震性貯水槽100トンを設置 (実相寺第一多目的競技場入口)
	10 月 1 日	PA連携を開始
21 年	10 月 8 日	消防署浜町出張所新築(建て替え)
	2 月 20 日	平成9年に導入した高規格救急車を更新(消防署本署)
	11 月 2 日	先端屈折式はしごポンプ自動車(35メートル級)を更新
	12 月 16 日	集団救急事故総合訓練を実施(大分DMAT合同訓練)

平成	21年	12月	24日	消防本部マスコットキャラクター『ヒートム』命名
	22年	1月	13日	光町・未広町大規模火災(23棟全焼・47世帯 93名被災)
		7月	2日	女性消防団が結成20周年を迎える
	23年	2月	25日	平成13年に導入した高規格救急車を更新(消防署朝日出張所)
		3月	14日	東日本大震災の発生に伴い、岩手県釜石市に緊急消防援助隊として職員を派遣(救急小隊1隊3名、後方支援小隊1隊3名)
		3月	27日	化学車(Ⅱ型)及びポンプ車(CD-Ⅱ型)を更新
		4月	1日	消防本部の組織を2課制から3課制に移行 消防署の組織を3中隊制から2中隊制に移行
		8月	5日	九州地区消防実務講習会
		10月	19日	第20回全国女性消防操法大会(横浜市)
	24年	2月	28日	大分県女性消防団員研修会
		3月	30日	大分県常備消防相互応援協定締結(県下14消防本部)
	25年	3月	28日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を更新
		3月	31日	大分県消防団相互応援協定締結(県下18市町村全消防団)
	26年	1月	14日	平成16年に導入した高規格救急車を更新(消防署浜町出張所)
		4月	24日	湯山で林野火災(60万7千㎡焼失)
	27年	2月	16日	平成17年に導入した高規格救急車を更新(消防署亀川出張所)
		3月	1日	高速自動車道等における消防相互応援協定締結
		3月	13日	平成15年に導入した消防緊急通信指令システムを更新
		12月	7日	消防救急アナログ無線から消防救急デジタル無線へ移行運用開始
	28年	4月	12日	湯山で林野火災(30万㎡焼失)
		4月	14日	平成28年熊本地震の発生に伴い、熊本県熊本市に緊急消防援助隊として職員を派遣 (指揮隊1隊5名、消火小隊1隊4名、後方支援小隊1隊2名)
		4月	16日	平成28年熊本地震発生(別府市震度6弱)
	29年	1月	19日	新別府病院ドクターカー運用開始
		2月	5日	楠町で大火(4棟全焼・16世帯24名被災)
		3月	2日	救助工作車Ⅱ型を更新(消防署本署)
	29年	4月	1日	救急ワークステーション運用開始
		7月	5日	九州北部豪雨の発生に伴い、大分県常備消防相互応援協定に基づく隊員の派遣(救助隊1隊5名)
		12月	14日	上田の湯町で大火(6棟焼損・8名被災)
	30年	1月	31日	ポンプ車(CD-Ⅰ型)を更新(消防署本署)

平成	30年	1月	31日	タンク車(水I-A型)を更新(消防署朝日出張所)
		2月	28日	NBC災害訓練を実施
		3月	7日	自治体消防制度70周年記念式典において、別府市消防団が竿頭 綬を授章
		3月	14日	消防署査察車を更新
		4月	11日	中津市耶馬溪町の土砂災害発生に伴い、大分県常備消防相互応 援協定に基づく隊員の派遣(派遣隊総数・救助隊24隊120名、 救急隊3隊9名)
		7月	25日	広島県の豪雨発生に伴い、広島県安芸郡坂町に緊急消防援助隊 として職員を派遣(派遣隊総数・救助小隊3隊15名、後方支援小 隊3隊6名)
		令和	元年	1月
12月	8日			大分県消防大会を別府市公会堂で開催
2年	12月		25日	ポンプ車(CD-I型)を更新(消防署朝日出張所)
	2月		28日	消防指揮車を更新
	3月		7日	消防署亀川出張所新築(建て替え)
	3月		19日	緊急輸送車を更新
	7月		4日	熊本県の豪雨発生に伴い、熊本県人吉市に緊急消防援助隊とし て職員を派遣(派遣隊総数・指揮隊2隊8名、救助小隊2隊10名、 後方支援小隊2隊4名)
	3年		1月	28日
4年	5月		15日	大分川・大野川総合水防演習に参加
	12月		8日	平成26年に導入した高規格救急車を更新(消防署浜町出張所)
6年	3月	28日	拠点機能形成車を総務省消防庁より導入	
6年	4月	1日	消防本部・消防署の機構を改革	
6年	10月	1日	大分県域消防指令業務共同運用開始	

※ 消防出初式にあつては、毎年1月の第2日曜日に実施している。